



信州大学 (長野県)



教育学研究科において多様な専攻分野の教員から指導が受けられます

◇大学紹介

○大学の概要

信州大学は1949年に設立された総合大学で、松本・長野・伊那・上田の4つの地域に8学部（人文、教育、経法、理、医、工、農、繊維）、5大学院研究科がある。各都市は、アルプスの山々と高原に囲まれた美しい自然環境と伝統ある教育環境に恵まれ、独自の発展をみせているが、各キャンパスはネットワークシステムによって結ばれ、大学の一体化と教育研究情報の効果的活用が図られている。

例えば、教育学研究科 高度教職実践専攻（長野市）は2つのコースと、附属施設としての6附属学校園、次世代型学び研究開発センター、志賀自然教育研究施設を有し、深く幅広い専門的知識と総合的な判断力や行動力の育成を目指している。また、国内有数の教育県として知られる長野県の教育界をリードしてきた伝統を受け継ぐとともに、新たな国際化時代に対応すべく努力している。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2021年度：313人
2020年度：365人
2019年度：395人

・過去3年間の教員研修留学生の受入れ実績

2021年度：0人
2020年度：0人
2019年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

教育学研究科（長野市）で、多様な専攻分野の教員から指導が受けられる。

○受入定員 3名以内

○研修コースの概要

『日本語・日本文化教育』

①日本語研修コース：グローバル化推進センターにおいて、初級から中級レベルの学習者を対象に、半年16週間の日本語の授業を実施している。初級・初中級においては、日本人と日本語を使ってコミュニケーションがとれるようになることを、中級ではさらなる日本語能力の向上を目的としている。

②日本語補講：信州大学の留学生全体を対象に、長野・伊那・上田の各キャンパスで日本語補講を実施しており、教員研修生も研修コースの復習やブラッシュアップのために受講することができる。

③見学・地域交流等の参加型科目

日本社会と日本人：日本企業の紹介など
武道伝統文化実習：茶道、琴、剣道、空手など

『専門教育』

留学生が希望する研究テーマにより、その分野の担当教員が指導教員となり、研究指導を行う。なお、留学生の希望により研究分野以外の講義等の受講が可能である。

『その他』

受入れ身分は研究生(原則として修士の学位をもっている方)となり、単位の認定は行わない。他の外国人留学生や日本人学生との交流の機会が多く設けられている。グローバル化推進センターにおける全学の留学生を対象とした見学旅行(1泊)等を行っている。

◇修了生へのフォローアップ

リトアニアからの留学生を受け入れた例では、帰国後もメールにて連絡を取り合っている。2012年5月10日から19日にかけて、留学生本人のほか、生徒6名、学校長の計8名が訪日し、教育学部の学生との交流などを行った。

◇宿 舎

国際交流会館・民間アパートを利用する。

○宿舎数

- ①松本国際交流会館（松本市）
単身用：62 夫婦用：2 世帯用：1
②長野国際交流会館（長野市）
単身用：24 夫婦用：4 世帯用：3

○宿舎費（渡日前の前納は不要です。） （公共料金等その他諸経費は除く。）

単身用：4,700円
夫婦用：9,500円
世帯用：11,900円
民間アパート 20,000～40,000円程度

○宿舎設備・備品

国際交流会館
机、書棚、冷蔵庫、流し台、ガスレンジ、食器棚、
ベッド / 共用で洗濯室、ラウンジ、研修室

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

- ①近隣にバス停、スーパーマーケットあり
大学まで徒歩8分
②教育学部までバスと徒歩で約25分
JR長野駅まで徒歩20分、県立図書館まで
徒歩5分、スーパーマーケットまで徒歩5分

◇問合せ先

大学所在地
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

担当部署
グローバル化推進センター、
国際部国際企画課

連絡先 TEL +81-263-37-2198
FAX +81-263-37-2181
gecschl@shinshu-u.ac.jp

ホームページアドレス
<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/>

大学名： 信州大学(大学番号22)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科 等名	教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
22001	小林 比出代	hidevokb@shinshu-u.ac.jp	国 語	国語教育 日本語、日本文学の研究とそれらの教育方法	日本語	1人	日本語による日常会話および受講が可能であること。
22002	伊藤 冬樹	fito@shinshu-u.ac.jp	理 科	理科教育, 光化学, 有機物理化学	日本語	1人	日本語および英語によるコミュニケーションが可能であること。
22003	齋藤 忠彦	saitota@shinshu-u.ac.jp	音 楽	音楽教育研究、声楽、器楽、作曲	日本語	1人	大学卒業程度の専門教育を受けていること/研究内容があつていること/ 日本語による日常会話が可能であること。
22004	岡田 匡史	maokada@shinshu-u.ac.jp	美 術	美術教育, 彫刻	日本語	1人	大学卒業程度の専門教育を受けていること/研究内容があつていること/ 日本語による日常会話が可能であること。
22005	村松 浩幸	muramatu@shinshu-u.ac.jp	技 術	情報工学・機械工学・金属工学・技術教育・環境教育	日本語	1人	日本語および英語による会話が可能であること。
22006	三野 たまき	mitsuno@shinshu-u.ac.jp	家 庭	被服学、食物学、住居学、生活経営学、家庭科教育学	日本語	1人	日本語による日常会話が可能であること。